

平成27年度第10回庁議 会議録

[日 時] 平成28年3月23日(水) 9時～9時30分

[場 所] 本庁応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長及び各部局長

[会次第]

1 市長あいさつ

2 連絡事項

(1) 平成27年度監査指摘事項及び平成28年度監査実施計画について (監査委員事務局)

1 市長あいさつ

おはようございます。

先週、議会が閉会しましたが、議会、予算特別委員会の対応方ご苦労様でした。

また、本日の庁議は、今年度最後の庁議になります。部局長さんには、この一年間大変お世話になり、ご苦労様でした。

平成28年度は、施政方針でも申し上げましたが、「再生から創生への躍進の年」と位置付け、地域再生への取組を総合戦略が目指す地方創生へと深化させ、新居浜市総合戦略に掲げます「住みたい、住み続けたいあかがねのまち」の実現を目指してまいりますので、各部局におかれましては、着実な事業の推進を図っていただきますとともに、スピード感を持って取り組んでいただきますようお願いいたします。

2 連絡事項

「平成27年度監査指摘事項及び平成28年度監査実施計画について」

市長	連絡事項、平成27年度監査指摘事項及び平成28年度監査実施計画について、監査員事務局より願います。
監査委員事務局長	<p>監査委員事務局から、平成28年度監査実施計画書（案）及び平成27年度定期監査指摘事項等総括について説明する。</p> <p>まず、平成28年度監査における基本方針について、地方においては、本格的に進行する人口減少が地域経済の活力を奪うのではないかと懸念される一方で、社会保障費や施設更新費用等の歳出が増加し、財政状況は一層厳しくなるものと予測されている中、国においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、更には、地方創生の深化を図るための取組の基本方針も示されている。本市においても、「新居浜市総合戦略」が策定されたが、実効性のある取組を推進していくためには「市役所の再生」は不可欠であり、公正で合理的かつ能率的な行財政運営を行うことが重要である。このような観点から平成28年度の監査実施等に当たっては、今まで以上に指摘にとどまらず、指導に重点を置いて行うこととする。</p> <p>特に重点的な取組として、</p> <ol style="list-style-type: none">1 予算執行方針を踏まえ、行政改革及び効率的な行財政の執行がなされているか、経済性、効率性、有効性といった行政監査的な視点から実施する。2 法令遵守に基づく正確な事務処理が行われているか、特に、収入事務、補助金交付事務、契約業務、物品管理、公有財産の管理については、共通監査項目として、確認を行う。3 施設の管理運営状況、滞納債権の管理状況、業務委託契約の適正執行について、平成28年度の重点監査項目とし、それぞれ行政改革及び効率的な行財政の執行、並びに法令遵守に基づく正確な事務処理の視点等から確認を行う。4 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全な財政運営が行われているか、4つの財政指標算出が適正になされているかを検証する。5 前年度定期監査の指摘については指摘後の対応及び再発防止策（内部統制システムとして業務の適正化を確保するための体制が構築されているか）等について検証を行う。6 行政の透明性確保と適正な運営に資するため、監査の結果について、

市長をはじめ、関係機関に報告するとともに、各公民館や本市のホームページ等を通じ市民に公表する。

以上の6項目を重点項目として取り組んでいく。

次に、定期監査等の日程について、消防本部・消防署については、資料提出時期が早く、苦勞をお掛けしているため、2番目の水道局と同じ時期まで遅らせている。順序については、決算審査時期との重複を避けるため、経済部を年明け、1月の実施とした。日程についても、若干の変更があるので、確認をお願いする。なお、議会事務局、農業委員会については、4月15日が資料提出期限となるので、準備方よろしく願います。監査実施計画書（案）の全体については、後ほど、お目通し頂きたい。なお、新年度の監査実施計画書については、4月1日に、各部署長・課所長宛てメール送信の上、庶務担当会議において内容説明を予定しているが、事前に基本方針、監査日程等について、周知頂くようお願いする。

次に、平成27年度定期監査指摘事項等について説明する。施設の管理運営について、合理的、効率的な管理運営を行うことによる職員数削減等のほか、将来の財政負担の軽減を図ることも重要であることから、中長期的な視点に立った事業の抜本的な計画策定が必要である。また、施設としての存続ニーズや意義等原点に立ち返って、より効率的な施設運営のあり方についても検討をお願いする。次に、債権の適正管理について、滞納が重なるほど収納の困難度は増すことから、滞納初期段階等での適切な対応が重要である。訪問徴収や納付相談等の取り組み強化、返済能力が認められる場合の適切な時効中断措置、悪質な滞納者については差押や、法的措置等を強化、の3項目に留意し、これまで以上に適正な債権管理と滞納債権の的確な回収対策に努めていただきたい。次に、契約事務等について、競争性、経済性等への配慮が不足していると思われる事案や、業務委託後の管理と検証が十分になされていないと思われる事案が見受けられる。契約事務マニュアル等に基づくとともに、競争性、経済性等の観点から、執行方法を工夫することが必要である。契約事務では、契約内容等の明確化、設備保守点検や樹木剪定、除草等についての経費低減の見直しに留意していただきたい。随意契約では、見積り依頼業者を固定化しないこと、1者随意契約は、見積り書の内容を厳格に検証、査定するなど、経費低減の取組を強化すること、また、入札又は複数業者からの見積り書徴取方式に変更できないか検討することに留意していただきたい。指定管理者制度では、利用者による自主管理等も考慮の上、より少額の費用で管理運営を行う方策について、仕様変更等が可

	<p>能な時期までに改善策を検討することに留意していただきたい。次に、経常経費の不用額について、予算額の積算にあたっては、決算の実績やより正確な事業計画の立案等によりその精度を高め、妥当性に欠ける多額の不用額が発生することのないよう限られた財源を有効に活用することが必要である。その他、負担金については、今後も引き続き支出の効果及び必要性等の検討を行い、更に厳しい観点で見直しに努めること、公金等の事務処理については、今年度の監査において、複数件の過誤払や過誤徴収等が見られたことから、課所長等、決裁権者は十分確認しチェック体制の強化を図ること等の指摘があった。</p> <p>各部局長においては、こういった点に留意し、適正かつ効率的な事務執行をお願いする。</p>
市 長	<p>質問・意見等はないか。なければ、本日が最後の庁議となるが、1年を振り返って何かないか。なければ、今年度をもって退任、退職される方々から一言いただきたい。</p>
教 育 長	<p>平成14年に教育委員会に入り、皆さんには、ご迷惑をおかけしたり、無理難題も言ってきましたが、温かい言葉もかけていただき、業務を終えることができたのも皆さんのおかげです。ありがとうございました。今後ともよろしく願います。</p>
参 与	<p>3年間勤めましたが、3月末で退任となりました。今後は公私共々、新居浜市の振興発展のために尽くしていきたいと思えます。これまでご教授いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願います。ありがとうございました。</p>
企画部長	<p>長い間ありがとうございました。振り返ってみますと、ついこの間別子ハイツで新採研修を受けたような気がします。入庁したのは、ちょうど就職難の時代で、第二次オイルショック、その後はバブルも経験しましたし、大災害や平成の大合併など様々なことがありました。私自身は、与えられた目の前の仕事をこなすのが精一杯で、役所生活の中で何ができたのかと思っています。一つ思いますのは、地方分権と久しく言われていますが、現在は、地方創生・人口減少問題を焦点に、今までと違った価値観で、将来を見ていかなければならなくなってきたと考えています。私事ですが、退職される先輩方を見て、歳を取ったイメージを持っていましたが、その立場に立って自分ではまだまだ若いつもりでいます。退職を機会にしっかりとリフレッシュして第二の人生のスタートを</p>

<p>総務部長</p>	<p>切りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>今までありがとうございました。市役所に入って37年間、様々な立場で、皆さんと接し、助けていただいた思いがあります。振り返ってみますと、長いようで短かった37年間でした。皆さんには、今後ますます大変な行政運営を担う形になると思いますが、健康には十分留意して頑張っていたきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>
<p>市民部長</p>	<p>56年に入庁し、35年間皆さんと一緒に仕事ができましたことを本当に良かったと振り返っています。35年間はあっという間に過ぎたような気がします。私の場合は、後2年残しての退職ですが、その後のことを考えることなく今日の日を迎えたわけですが、これからも皆さんと一緒に頑張っていけるよう努めてまいりたいと考えています。振り返って一つ思うことは、56年に入庁して、公民館に勤めましたが、その時に言われた言葉が今でも頭の中に残っています。「市役所の職員は、現場で3年間仕事して本庁に帰ったら、私たちのこと等忘れてしまって、頭の隅にもなくなるのだろう。」と言われたことが、35年たった今でも心に残っています。市民と共に色々なことを進めていくのが市役所ではないかと思います。協働という言葉はよく聞かれますが、形だけの協働もまだまだ見受けられます。市民の力を借りて、一緒に新居浜の街を良くして行けたら、地方創生に繋がるものと思っています。今後とも色々な形でのご指導よろしくお願いいたします。</p>
<p>監査委員事務局長</p>	<p>皆さんには長い間お世話になりました。私は36年間で、福祉が長かったのですが、市民の方々と接するのが、非常に苦痛でもあり、楽しみでもありました。最後は、監査委員事務局ということで、市民の方々と接する機会のない部署で役所生活を終えることになりましたが、これまで勤めることができたのは、良き先輩、良き後輩に支えられて今までやってこれたことが、私にとって一番大きな要因かと思います。監査での2年間で、これまでを振り返りましたが、色々な失敗もあり、ご迷惑を掛け続けたことを思い返し、自分の中で整理をし、役所生活に悔いはないことを思えるようになりました。自分にとっては、市民と接することが一番合っていると思いますので、退職後は、福祉の分野で仕事が出来たらと思いながら、残り数日を過ごしていきたいと思います。長い間大変お世話になりました。</p>
<p>港務局事務局長</p>	<p>38年間、最初は下水から始まりましたが、技術職として、道路では橋梁をメインに、港務局ではフェリー場と、比較的作るものとしては恵まれた気がし</p>

市長	<p>ます。今の若手職員は、土木の醍醐味が味わえていないようでかわいそうな気がします。昔は、比較的簡単な工事については「やってみろ」ということで、やらせてもらえたが、最近は、失敗が許されず慎重になっていることもあり、若手が伸びにくいように思います。私の力不足もあり、若手を伸ばせる体制づくりができなかったことを申し訳なく思います。皆さんには、大変お世話になりました。</p> <p>退任・退職される皆さんには、本当に長い間ご苦勞様でした。先ほど話にもありましたが、人生7掛けとって、60歳とって、まだ40代ぐらいの若さではないかと思しますので、これからの第二の人生、健康には十分留意していただいて、ますますご活躍をしていただきたいと思します。そして、長年勤めた市役所に対して温かく見守っていただけたらと思しますので、どうかよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。</p> <p>これで第10回庁議を終了する。</p>
----	--